

第19回国際質量分析会議の公開講座

科学技術に **マスマス** 貢献する質量分析

最先端の研究は、基礎的な学習から

9月に京都国際会館で開催される質量分析の国際学会のイベントの一つとして、生徒・学生・一般市民向けの公開講座を開催します。
少しでも科学・技術に興味のある方は是非お越しください。

講師

田中 耕一

タンパク質の分析手法の発明で2002年ノーベル化学賞受賞



京都国際会館メインホール（1840名収容）

1966年に完成した日本で最初の国立の国際会議場。
京都市営地下鉄烏丸線の終点「国際会館」下車すぐ

講師

田中 耕一（島津製作所田中最先端研究所・所長、ノーベル化学賞受賞者、第19回国際質量分析会議 IMSC2012 KYOTO 共同議長）

日時

2012年9月15日（土）14:00～16:00

場所

国立京都国際会館・メインホール
〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422番地

入場

無料（要Web申し込み：<http://www.first-ms3d.jp/>）

IMSC公開講座



個人受付以外にも高校・大学等からの団体受付も可能 詳細は下記連絡先まで
定員になり次第締切りと致します

内容

1. 高校までに学ぶ理系の実験を披露し、質量分析の基礎を解説
2. 基礎教科の学習が、最先端の研究に役立っていることを説明
3. 異分野の専門知識が、演者の受賞発明に結びついたことを紹介
4. 日本の科学技術の特長に独創を生み出す素地があることを紹介

主催

日本質量分析学会、日本学術会議

共催

最先端研究開発支援プログラム(FIRST) 田中ms3d プロジェクト

後援

京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都文化交流コンベンションビューロー
京都新聞社、京都新聞COM

